



学習指導要領を愛読書に

2025年3月22日

第1回 英語教育飛鳥の会

横浜市立横浜総合高校

松山 晃基

Ko04-matsuyama@city.Yokohama.lg.jp



講座の目的

学習指導要領を読み解き、指導に活かす。

具体的な授業設計に役立てる。



文章量が多い！
抽象的な言葉が多くて読むの
がしんどい！
マニュアルだと思って読むと
具体例が少ないじゃないか！
忙しくて無理！



教育の目的



目指す方向性が定まっていないと、
見通しが持てないまま指導してしまう

Q. 学校教育は何のために
行うのでしょうか？

目的⇒ゴール



教育基本法を確認してみましょう。

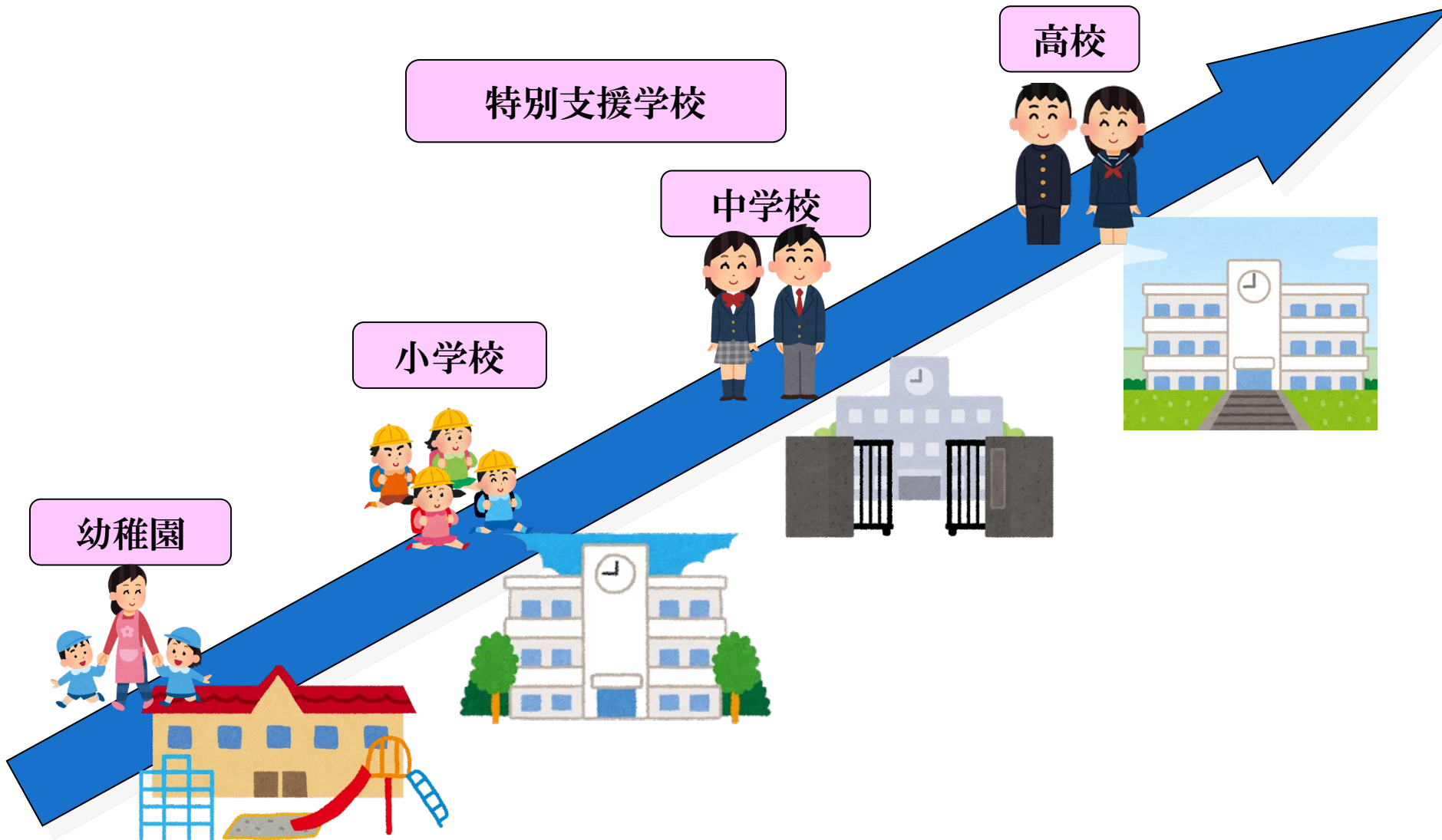
第一章 教育の目的及び理念

(教育の目的)

第一条 教育は、**人格の完成**を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。



人格の完成を目指す



英語科として指導の方向性を一つにする。



教科として育てたい生徒像を明確にする。

英語科としてできていること・できていないことを整理する。

英語科が願う生徒の育った姿を具体化する。

指導要領にある各科目の目標と照合し、整合性をとる。



Can-Do リスト



年間指導計画

英語科として共通言語を作るため



学習指導要領を読み解き
指導に活かした方法

読み解くとは

○文章を念入りに読んで、意味を
解き明かす。（岩波国語辞典より）

○文章の意味を理解する。解釈し
ながら読む。（明鏡より）

高等学校「外国語の目標」

科目段階別一覧表

読むこと

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。



概要とは？

【外国語編】

中学校指導要領解説 第二節 1 目標

(2) 読むこと イ

「概要を捉える」とは、例えば物語などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれたりすることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることである。

【外国語編】

高等学校指導要領解説 第2節 英語コミュニケーション I 1 目標 (2) 読むこと イ

概要とは、読んだ英語のおおよその内容や全体的な流れのことであり

どんなテストで測りますか？

テストで見とるために普段の授業でどのように指導しますか？

要点とは？

【外国語編】

中学校指導要領解説 第二節 1 目標

(1) 読むこと ウ

「要点を捉える」とは、例えば説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、含まれている複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断して捉えることである。

【外国語編】

高等学校指導要領解説 第2節 英語コミュニケーション I 1 目標 (2) 読むこと イ

要点とは、書き手が伝えたい主な考えなどの読み落としてはならない重要なポイントのことである。

どんなテストで測りますか？

テストで見とるために普段の授業でどのように指導しますか？

学習指導要領とは授業づくりのレシピ

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省では、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めています。これを「学習指導要領」といいます。

作りたい料理



調理のポイント
野菜の水分だけで、ほくほくしたおいしいものを生かし、甘辛味をしっかりとつけることです。水分を入れずに少量のお酒だけで、蒸し煮にして火を通します。味の濃くついたところ、ついていないところのメリハリがアクセントになっておいしいのです。均一に煮上げようと思わずよいのです。

素材・調味料

4人分

牛切り落とし肉 : 200g
または薄切り肉
じゃがいも : 3個 (400g)
玉ねぎ : 2個 (400g)
しらたき : 200g
青ねぎ : 3本
酒 : 2/3カップ
砂糖 : 大さじ3
みりん : 大さじ2
しょうゆ : 大さじ3

●サラダ油

■1人分 344kcal ■塩分 1人分 2.0g ■調理時間 30分

a



玉ねぎはくし形に切る。芯を残して切れば、ばらばらにならず煮上がりがきれい。

c



野菜の水分だけで火を通すことで、ほくほくした食感に煮上がります。

ポイント

b



じゃがいもを炒めてなじませる。表面に火を通してから煮ると、おいしい。

調理工程

●下ごしらえ

1

牛肉は、食べやすく切る。
じゃがいもは皮をむいて3つに切る。
玉ねぎは皮をむき、芯を残してくし形切りにする (a)。
青ねぎは4～5cm長さに切る。

2

しらたきはゆでて水に取り、
十字に包丁を入れ
食べやすい長さにする。

3

ふたのきちんとできる鍋 (文化鍋など) に
サラダ油大さじ1を熱して、
じゃがいもを表面が透き通る程度に炒め (b)、
次に玉ねぎ、しらたき、牛肉を入れる。
すぐに酒を入れて (ポイントc)、
砂糖、みりんを全体にふり入れ、
ふたをして15分中火で煮る。

4

しょうゆを加えて、
ふたをして5分間煮る。
仕上げに青ねぎを入れてさらに2～3分煮る。

●炒める・煮る

作りたい料理

第8節 外国語

● 第1款 目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

外国語

材料・調味料

2 内 容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、小学校学習指導要領（平成二十九年文部科学省告示第六十三号）第2章第10節の第2の2の(1)、中学校学習指導要領（平成二十九年文部科学省告示第六十四号）第2章第9節の第2の2の(1)及び次に示す言語材料のうち、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

ア 音声

- (7) 語や句、文における強勢
- (4) 文におけるイントネーション
- (9) 文における区切り

イ 句読法

- (7) コンマ
- (4) コロン、セミコロン
- (9) ダッシュ

ウ 語、連語及び慣用表現

- (7) 小学校及び中学校で学習した語に400～600語程度の新語を加えた語
- (4) 連語
- (9) 慣用表現

エ 文構造及び文法事項

- 小学校学習指導要領第2章第10節の第2の2の(1)のエ、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)のエ及び次に示す事項については、意味のある文脈の中で繰り返し触れることを通して活用すること。その際、(4)に掲げる事項を、(7)に掲げる事項と合わせて扱うこと。
- (7) 文構造のうち、活用頻度の高いもの
 - (4) 文法事項



必要な指導（要素）を確認する

相手の意見をそのまま受け取る	相手を尊重する姿勢	自分の意見と比較して考える
他者の意見や考えに反応を示す	他者の意見や考えを理解しようとする生徒	積極的に聞く姿勢
言葉やジェスチャーを使用して確認する	背景や立場の違いを考える	質問を通じて理解を深める

まとめ

- 目的が説明できる。
- 言葉の定義を確認。
- 指導要領を活用する“仲間”を作る。

参考文献

文部科学省：高等学校指導要領（平成30年度告示）

文部科学省：高等学校指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編

文部科学省：各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き